

令和5年度 社会福祉法人淡路島福祉会 事業方針

社会福祉法人 淡路島福祉会
本部長 岡本和浩

新型コロナウイルスの国内感染から3年が過ぎました。現在、第8波です。ロシアとウクライナの戦争も先が見えません。日本では円安が続き、物価は高騰、賃金は横ばいの状況です。軍備拡張。人材不足。少子高齢。カーボンニュートラル。SDGs。

職場では、「〇〇特養クラスター発生です。」「××特養も〇×特養もです。」「△△デイサービス2週間休止の連絡です。」「ショートステイの受け入れも中止、訪問介護もサービス提供できないと。」「病院も受け入れてくれません。」「救急車は来てくれましたが、受け入れ先がなく6時間以上出発出来ていません。」「Aさん発熱ですが、受け入れてくれる病院がありません。」「B職員の子どもさんがコロナ陽性の為、濃厚接触者となりお休みです。」「C職員も、D職員も、E職員、F、G、H…」「発熱ですが、診てくれる病院がありません。」

生活の場面でも、「スーパーで買物した時、今まで3,000円くらいだったのが4,000円くらいになりました。」「電気代やガソリン代が高すぎて。」「卵も値上がりしたよね。」「マックの値上がりが凄すぎて。」「ユニクロも高くなりましたよね。」職員の生の声です。インフレ時代に突入の兆しでしょうか。また、起こり得る大災害に対する備えも喫緊な課題です。

私どもの法人も、各施設においてコロナクラスターが発生し、大打撃を受けました。収支においては、2年連続で前年度を超える赤字決算となりそうです。利用者様に対してもサービス提供できない時期があり、多大なご不便をおかけしてしまいました。また、職員にも、コロナ感染で、出勤できない職員が多数いる状況でのサービス提供にあたり、心身ともに負担をかけてしまいました。本年は癸卯の年。努力が実り花が開く縁起の良い年と言われます。

今年の課題は、

- ① 新型コロナウイルス感染症に対し、冷静に適切な対応をしていきます。
- ② 利用者個々の望む暮らし、社会参加の大切さを念頭にサービス提供します。
- ③ 楽しく働きがいのある職場環境を整え、人員配置を適切に維持します。
- ④ 他職種、多業種の方々とも連携できる機会を持ち、より良いサービス提供に努めます。
- ⑤ 社会福祉法人における公益的な取り組みを積極的に行います。
- ⑥ インボイス制度の導入に適切に対処します。
- ⑦ 地域の特性を鑑み、地域に親しまれ信頼される福祉事業所であり続けます。

2025年の大阪万博では、空飛ぶクルマで会場に向かい、明るい未来に希望が持てるようになることを祈念しながら、今年度も職員一同、力を合わせて頑張っていく所存です。

本年もよろしくお願い申し上げます。